■親愛南の里(令和2年度事業計画)

令和2年度経営方針

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、生活介護・施設入所支援・短期入所の適切な運営管理に 努めるとともに、利用者個々のニーズや障がい特性を踏まえた支援計画を策定し、安全で豊かな日常生活・地域生 活を営むことができるよう、必要な支援サービスを提供する。

今年度は、前年度に整備したスヌーズレン室を活用したスヌーズレン活動をはじめ、健康維持・機能低下防止を目的とした屋外散歩や外出活動、カラオケ・映画鑑賞などの文化的活動について、スケジュール化を進めることで日中活動体制の充実・強化に取り組む。

また設備の老朽化対策として、温冷配膳車の更新を行うほか、館内空調設備の更新に向けて、必要な手続きを進める。

- (1)施設入所支援事業 主に夜間や休日において、生活の場にふさわしい日常生活支援サービスを提供する。
- (2)生活介護事業 障がい特性や利用者本人の意向をもとに、健康維持や生きがい支援につながる日中活動支援 サービスを提供する。
- (3)短期入所事業・日中一時支援事業 在宅で暮らす障がい者本人とその家族の暮らしを支えるため、短期的な施設支援サービスを提供する。

令和2年度取り組み

①利用者支援

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
利用者のニーズに沿った個別支	① アセスメント、個別支援計画、モニタリングを実	通年
援計画の作成と実施	施し適切な支援を行う。また会議を通じて支援計	
	画の取組状況を検証する。	
	② 記録システムの見直しを検討する。	
行動障がいのある利用者が安心	利用者特性を踏まえた「支援手順書」を作成し、一	通年
して過ごせるよう支援する。	貫した支援を提供する。	
年々進む高齢化・虚弱化・重度	表情・体温・食欲・排泄など利用者の健康状態を定	通年
化傾向を踏まえ、健康管理支援	期的にチェックし、職員間の情報共有と連携により	
や医療的支援を行う。	適切な通院支援や服薬支援を提供する。	
季節感や彩りのある献立を作成	季節の行事食や各利用者の希望を踏まえた誕生食	通年
し、利用者の嚥下機能を踏まえ	を企画し、常食・ソフト食・刻み食など利用者の咀	
た安全な食事を提供する。	嚼・嚥下機能に合わせた食形態で提供する。	
日中活動の充実を図る。	スヌーズレン活動をはじめ、屋外散歩や体操、カラ	通年
	オケや映画鑑賞など、利用者ニーズにあった活動メ	
	ニューの充実に向けたスケジュール化を進める。	

②人材育成

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
日常の OJT を充実させるとともに、	各職員のキャリアパスや育成課題を踏ま	埼玉県社会福祉協議会
外部研修等を通じて幅広く知識・技	え、OJT・内部・外部研修を計画的・効果的	研修計画
能の習得を図る。	に実施する。	
行動障がいのある利用者に適切に	「強度行動障害支援者養成研修」未受講者	強度行動障害支援者養成
対応できる職員を育成する。	(R1・2度採用者等)を受講させる。	研修(基礎)

③施設設備管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
中長期計画に基づく施設・設備の老	令和2年度の主な工事・設備の整備	
朽化対策を計画的に実施する。	① 温冷配膳車更新(2台)	300 万円(1 台 150 万円)
	② 給水ポンプユニット交換	125 万円
	③ 内側自動ドアエンジン交換	45 万円
	④ 館内空調設備更新手続き	
設備の修理・更新を進める。	① 厨房用機器洗浄・消耗品交換	20 万円
	② 小荷物昇降機ワイヤー交換	25 万円
	③ 受水槽亀裂補修	30 万円
	④ 利用者用ソファ一更新(2台)	15 万円
	⑤ 利用者用ベッド(3 台)	30 万円

4危機管理

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
防災計画に基づく避難訓練を実施	年4回の防災訓練を実施、うち1回は消防	消防計画
し、災害時の迅速な対応に努める。	署の立会い指導による防災訓練を行う。	
利用者の見守り体制を強化する。	「見守りカメラ」の整備検討を進める。	万円
		※保護者会要望事項

⑤その他

具体的な取り組み内容	取り組み方法・手段	備考(予定・予算等)
施設サービスに関する情報公開を	ホームページを活用し施設の情報を広く発	通年
進める。	信する。	
未来の福祉人材を育成し、多様な働	実習生を積極的に受け入れ、障がい福祉	通年
き方を希望する人材の有効活用を	分野への興味関心を促す。また中高年層	
進める。	やパート労働者を積極的に活用することで	
	サービスの質の維持・向上を図る。	